

実務経験のある教員

所属学科	職名	担当教員	科目名	内容	単位数
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	英語 I (子ども教育)	この科目は一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。子ども教育学科で開講される「英語I」の初級レベルです。大学生として身につけておくべき基本単語を覚える。アクティブ・ラーニングとICTの活用を通して、英語のネイティブスピーカーの自然な発音方法を習得できるよう発音練習を行う。さらに基本的な文法事項を確認しながら英文を書く。反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う)の形式で行う。responによる出席確認を行なった上で、授業を行う。	1
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	英語 II (子ども教育)	この科目は、一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。子ども教育学科で開講される「英語II」の初級レベルです。大学生として身につけておくべき基本単語を覚える。英語のネイティブスピーカーの自然な発音方法を習得するために繰り返し発音練習を行う。さらに基本的な文法事項を確認しながら英文を書く。responにより出席確認等を行う。	1
子ども教育学科	教授	遊佐 重樹	English Pronunciation	この科目は、一般企業での海外駐在等の実務経験のある教員による英語の授業です。マルチメディア教材を活用して、IPA(国際音声記号)を使いながら英語の音声の仕組みを習得し、日本語に存在しない英語の音を徹底的に身につけ、それらを正確に聞き取る力を養う。さらに、平易な会話文・スピーチ文を使って、発音練習を行う。responによる出席確認を行なった上で、授業を行う。	2
心理福祉学科	准教授	茂木 千明	コミュニケーション論	コミュニケーションの基礎として、コミュニケーションの基本(話す・きく・みる・感じる)を通じて、自己理解と他者理解の重要性を学び、具体的な対人関係場面について考える。コミュニケーション能力を向上させるための方法の理解として、「話すこと」では、言語運用能力について理解し、自身および他者の言語運用能力について学ぶ。「きくこと」では、受容・理解能力について理解し、他者を受容・理解するための方法について学ぶ。また、多様な価値観をもつ相手とより良い関係構築のために求められる自己開示やアサーションといった対人関係能力を理解し、自らの対人関係の向上について学ぶ。人間関係の形成として、自己と他者という個人的関係から様々な人間関係の広がり(家族、友人、学校、職場など)について学び、その関係の中での集団のダイナミクスについて考える。自分とは異なる他者との関係の持ち方やその関係性について学ぶ。本科目は、公認心理師・臨床心理士としての実務経験のある教員による授業である。	2
心理福祉学科	准教授	茂木 千明	公認心理師の職責	公認心理師の学びの導入として、公認心理師の職責に求められる8つの事項を踏まえた授業内容となる。8つの事項は次のとおりである。「① 公認心理師の役割」「② 公認心理師の法的義務及び倫理」「③ 心理に関する支援を要する者等の安全の確保」「④ 情報の適切な取り扱い」「⑤ 保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務」「⑥ 自己課題発見・解決能力」「⑦ 生涯学習への準備」「⑧ 多職種連携及び地域連携」本科目は、公認心理師・臨床心理士としての実務経験のある教員による授業である。	2
グローバル・スタディーズ学科	准教授	熊谷 健二	情報処理 II	表計算ソフトExcelにはさまざまな便利な関数を用意されており、これらを利用することにより集計・検索・分析などの作業が効率よくできるようになる。また、一連の処理内容をプログラムの形にまとめるマクロ機能もあり、複数の処理を自動的に実行させることも可能である。本授業ではこのようなExcelのより高度な使い方をマスターし、さらに身につけた操作を自分で主体的に活用するなど深い学びへとつなげる(アクティブ・ラーニング)。小テストやアンケート、課題提出にはUNIPAを利用する。この科目は一般企業で研究開発の実務経験がある教員による授業である。	2

計 10

非常勤講師	佐藤 敬広	健康とスポーツA	誰もが健康で長生きすることは共通の願いである。生活の質は、たとえ身体に障がいや病気があっても日常生活の中で前向きに自己の心身の有用性を感じることで向上する。本授業では、各種アダプテッド・スポーツを実践するなかで、身体機能を補い用具を工夫することで、誰でも参加可能なスポーツがあることを体験的に学ぶことを目指す。この科目を受講することで年齢や性別、障がいの有無をこえて健康の維持・増進に向けて、健康づくりへの助言ができることを目指す。なお、本授業は障がい者スポーツ指導者の実務経験のある教員による授業である。	1
非常勤講師	佐藤 敬広	健康とスポーツB	誰もが健康で長生きすることは共通の願いである。生活の質は、たとえ身体に障がいや病気があっても日常生活の中で前向きに自己の心身の有用性を感じることで向上する。本授業では、各種アダプテッド・スポーツを実践するなかで、身体機能を補い用具を工夫することで、誰でも参加可能なスポーツがあることを体験的に学ぶことを目指す。この科目を受講することで年齢や性別、障がいの有無をこえて健康の維持・増進に向けて、健康づくりへの助言ができることを目指す。なお、本授業は障がい者スポーツ指導者の実務経験のある教員による授業である。	1
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 I A	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。複数回の小テスト形式で試験を行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 I B	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。テキストプリントと練習問題のプリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。授業時にはいろいろな映像も活用して、ネイティブスピードで話されるスペイン語を聞いたり、風景を見たり、希望があれば映画鑑賞も行いたい。食文化などにも触れ、語学学習と並行してスペイン語が話されている国々の文化(音楽、ダンス、行事、日常生活etc)に対する興味も一層深めていきたい。	1
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 II A	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。指定の教科書と補助プリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1
非常勤講師	西井 園枝	スペイン語 II B	通訳の実務経験があり、現在映像翻訳者としての実務を行う教員による授業。指定の教科書と補助プリントを使用して授業を行う。小テストも随時行い、宿題も適宜出す。課題に取り組み、試験範囲として指定した内容を自習することが復習となり力になる。授業時には覚えた表現を使ってのスペイン語での会話もできる限り行い、学生同士のペアワーク、グループワークなどのアクティブ・ラーニングも取り入れる。	1

計 6

合計 16